

科目名	カウンセリング・コンサルティング 概論		Subject	Overview of Counseling & Consulting				
サブタイトル	カウンセリング・コンサルティングの基礎的知識・技術を学び、トレーニングする							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
2 年	後期	選択						
授業形態	単位	時間						
演習	1 単位	30 時間	○		◎	○		
ゲストスピーカー招聘回								
教員名	森 優紀			メールアドレス	yuuki.mori@・・・			
教員の略歴	2013 年 東邦大学大学院 医学研究科看護学専攻 博士課程修了 博士(看護学)、看護師、保健師、行政書士、3 級ファイナンシャル・プランニング技能士等の資格を保有 著書「看護学テキスト NiCE 成人看護学概論」2010 年、論文他							
実践的教育	○ 看護師・保健師：看護師・保健師としての経験を活かし、具体的な事例を盛り込んだ授業構成としている。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要								
現代社会においては、コミュニケーション能力の高さが求められている。その能力を発揮する場面は、日常生活においては、家族、友人等、仕事上では上司・同僚・部下・取引先等との人間関係・お客様への接遇など多岐にわたる。特に、お客様への接遇では、関係性が継続する場合には、テラーメイドのサービスが求められることもあり、そのためには、コミュニケーションスキルの高さが重要となる。本科目では、学生自らを含め、人それぞれコミュニケーションの取り方・価値観・物事の捉え方が異なることを学習する。その上で、コミュニケーションスキルの中でも、カウンセリング・コンサルティング・コーチングの学術的な基本的知識、実践において即戦力となる具体的技術をトレーニングする。授業は、講義・グループワーク・事例検討・演習等で行う。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	-	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP1	・カウンセリング、コンサルティング、コーチングの概念、技術の違いを説明できる。 ・現実社会において、どのような場面でカウンセリング、コンサルティング、コーチング等の技術を使用するのか、イメージし説明できる。							
DP3	・事例に応じて、カウンセリング、コンサルティング、コーチング等を使い分けすることができる							
DP4	・人は各々、物事の捉え方、価値観が異なることを説明できる。							
教科書・教材								
教科書	はじめてのカウンセリング入門（上）カウンセリングとは何か 諸富祥彦著 誠信書房 2018 年							
参考文献	図解コーチング流タイプ分けを知ってアプローチをしようまくいく 鈴木義幸著 ディスカバー 2020 新コーチングが人を活かす 鈴木義幸著 ディスカバー 2020							
各自準備教材								
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
45%	-	25%	-	30%	-	-	-	-
レポートの提出がない場合、評価対象とはしません。 なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
筆記試験の要点については掲示にて解説を行います。								
履修上の条件・注意								
問いや課題には、積極的に取り組み解答に努める。本授業は双方向で展開するため、自身が問いかけられていない場合も他者の意見や解答を傾聴する。演習は真面目に取り組む。授業中知り得た参加者の個人情報他言しない。自身の出欠席数は各自で把握し、自己管理とする。Classroomとメールを定期的に必ず確認する。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第1回	オリエンテーション	講義の進め方、概要を理解する。	学習を進める上で重要な心構えを具体的に800文字程度にまとめる。	60分
第2回	人は各々、価値観、物事の感じ方、行動の仕方、コミュニケーションの取り方が異なることを学ぶ	人は各々、価値観、物事の感じ方、行動の仕方、コミュニケーションの取り方に違いがあること、留意する点について説明できる。	人は各々、価値観、物事の感じ方、行動の仕方、コミュニケーションの取り方に違いがあることに着目し、他者とコミュニケーションを取る上で留意する点は何が、800文字程度にまとめる。	60分
第3回	カウンセリング、コンサルティング、コーチング等の意味、概念を学ぶ	カウンセリング、コンサルティング、コーチング等の意味、概念を説明できる。	カウンセリング、コンサルティング、コーチング等の意味、概念を800文字程度にまとめる。	60分
第4回	カウンセリングと人生、相談したい心情、相手について学ぶ	カウンセリングと人生、相談したい心情、相手について説明できる。	カウンセリングと人生、相談したい心情、相手について800文字程度にまとめる。	60分
第5回	傾聴の方法(1) 傾聴の方法の種類、相手との角度・距離、傾聴する際の姿勢・視線について学ぶ	・傾聴の方法の種類を知る。 ・カウンセリングの際の相手との適切な角度・距離、姿勢・視線を理解し、実践することができる。	・傾聴の方法の種類について400文字程度にまとめる。 ・日常会話において会話をする際、相手との適切な角度・距離、姿勢・視線を意識し実践してみる。	60分
第6回	傾聴の方法(2) 傾聴の際の適切なうなずき・あいづちの方法、聴いてもらえないことの苦痛について学ぶ	カウンセリングの際の適切なうなずき・あいづちの方法について説明できる。 ・きちんと話を聴いてもらえないことの苦痛を体感し言語化できる。	・適切なうなずき・あいづちはどのようなものか400文字程度にまとめる。 ・日常会話において会話をする際、相手へ適切なうなずき・あいづちを意識し実践してみる。	60分
第7回	傾聴の方法(3) 「繰り返し」を用いた応答について学ぶ	「繰り返し」を用いた応答とは何か説明できる。 ・「繰り返し」を用いた応答を実践することができる。	・「繰り返し」の応答で得られる効果について400文字程度にまとめる。 ・日常会話において会話をする際、相手に対して適切な「くり返しを用いた応答」を実践してみる。	60分
第8回	・コーチングの概要を学ぶ ・コーチングの技術(1) 傾聴、ペーシング、質問について学ぶ	・コーチングの概要について説明できる。 ・傾聴、ペーシング、質問の方法について説明できる。 ・傾聴、ペーシング、質問の方法を適切に実践することができる。	・コーチングの概要について400文字程度にまとめる。 ・日常会話において会話をする際、相手に対して適切な傾聴、ペーシング、質問を実践してみる。	60分
第9回	コーチングの技法(2) 承認、フィードバック、提案、要望について学ぶ	・承認、フィードバック、提案、要望の方法について説明できる。 ・承認、フィードバック、提案、要望の方法を適切に実践することができる。	・コーチング技術の種類について400文字程度にまとめる。 ・日常会話において会話をする際、相手に対して適切な承認、フィードバック、提案、要望を実践してみる。	60分
第10回	カウンセリングの取り決め、設定について学ぶ	カウンセリングの取り決め、設定について説明できる。	カウンセリングの取り決め、設定について800文字程度にまとめる。	60分
第11回	カウンセリング総合演習 これまで学習したカウンセリング技術の実践力を養う	カウンセリング技術を適切な場面で使用することができる。	・演習で感じたこと、学んだことを400文字程度にまとめる。 ・日常会話において会話をする際、適切な場面においてこれまで学んだカウンセリング技術を実践してみる。	60分
第12回	コーチング総合演習 これまで学習したコーチング技術の実践力を養う	コーチング技術を適切な場面で使用することができる。	・演習で感じたこと、学んだことを400文字程度にまとめる。 ・日常会話において会話をする際、適切な場面においてこれまで学んだコーチング技術を実践してみる。	60分
第13回	ロールプレイング演習(1)：事例(1)に応じてカウンセリング、コンサルティング、コーチングの技術を使い分けることを学ぶ	事例に応じてカウンセリング、コンサルティング、コーチングの技術を使い分けることができる。	・演習で感じたこと、学んだことを400文字程度にまとめる。 ・日常会話において会話をする際、適切な場面においてカウンセリング、コンサルティング、コーチングの技術の使い分けを実践してみる。	60分
第14回	ロールプレイング演習(2)：事例(2)に応じてカウンセリング、コンサルティング、コーチングの技術を使い分けることを学ぶ	事例に応じてカウンセリング、コンサルティング、コーチングの技術を使い分けることができる。	・演習で感じたこと、学んだことを400文字程度にまとめる。 ・日常会話において会話をする際、適切な場面においてカウンセリング、コンサルティング、コーチングの技術の使い分けを実践してみる。	60分
第15回	まとめと解説	これまでの学びの概要を説明できる。	全講義の振り返りを行い、特に実生活において行動してみたカウンセリング技術等について学生同士でディスカッションを行い、その結果をレポート用紙2枚程度にまとめる。	60分